



落合第一地区協議会だより

みどりの風

第21号

編集・発行 落合第一地区協議会：03（3951）9196（落合第一特別出張所内）

平成27年12月15日 発行

地区協 こ・れ・か・ら

11月24日（土）落合第一地域センターで行われた「地区協フェスタ」はいかがでしたでしょうか。新しい試みとして4階ホールにあそびコーナーを設け、お子様連れの方にも楽しんで頂けたのではないかと考えております。

そして、昨年までの「新宿しんちゃん」に変わり、落合生まれの「クロッチ」君がフェスタに来てくれました。「クロッチ」君の生みの親である（株）ヌールエの筒井代表ご夫妻と会社の方には、大人気の「クロッチ」君と共に会場を回ってくださり、最後の後片付けまでお手伝い頂きました。終日おつき合いました事に大変感謝しております。

また、地区協議会のスローガン「ともにつくるみどり豊かで安心なまち」を目指し、その趣旨に賛同して下さった上落合在住のグリーンアドバイザーである香山三紀氏を講師にお迎えし、11月1日（日）に「花の寄せ植え講習会」を開きました。本来なら樹木を増やしたいのですが、まずは玄関先やベランダ等から始め、少しでもこのまちに「みどり」を感じて頂き、増やしていけたらと願っております。

地区協議会は、無灯火防止啓発キャンペーン、落合地域の歴史・文化の掘り起こし等々も行ってきましたが、今年で10年を迎え、今後さらに一歩ずつ大地を踏みしめ前に進んでいきたいと考えております。

▶ クロッチ参上！



◀ はじめましてよろしくネ！

▶ 戸塚交通少年団の演奏



▲先生の説明に真剣です



▲いざ！花の寄せ植えに挑戦

安全・安心部会

部長 竹内 佳苗

安全・安心部会では、フェスタのテーマを今年も防災・防犯・自転車の安全走行に関することとしました。安心して暮らすために必要不可欠な事だからです。3.11以来、防災意識は高まりましたが、地震・台風（豪雨）・火山噴火など、さまざまな自然災害の恐怖が私たちを不安にさせています。ひたくりや特殊詐欺などの被害に遭った人もたくさんいます。自転車といえども交通事故を起こせば加害者・被害者ともに大きなリスクを負う事になります。

防災グッズやパネルを展示し、アルファ米やパンの缶詰を試食していただきました。落一管内でどんな犯罪がどの位起きているか、戸塚署からデータをいただきました。大人の自転車教室を開催。事故を起こしたら？保険は？等、区の方に話していただきました。35回続いている無灯火防止キャンペーンのグラフも展示しました。（確実に無灯火は少なくなっています。）いつ起こるか分からない災害、いつ遭遇するか分からない犯罪や交通事故から身を守るために、このフェスタが役立つ事を願っています。



▲守ろう！大人も自転車ルール



▲この非常食おいしいネ！

ふるさと落合部会

副部長 新井 藤夫

部会では「落合の地史を識る」をテーマに、多様な活動を展開しております。過去のフェスタに於いて、大雨による妙正寺川の氾濫、昔日の学び舎と学童、学童疎開の真実、地域まち並みの古地図、古地図から見える落合、等々について、皆様に伝えて来ました。地域に長くお住まいの語り部の方々から生きた昔日の姿を学び、次世代に引き継ぎ新たな落合の歴史に繋がると自負しております。本年は江戸名所図会・江戸錦絵の展示を通して市井の人々の暮らし、当時の名所の賑わいから集い行き交う人々の笑顔までを読み取りました。語り部の方との暫しの懇談は、落合の変遷の楽しい理解の場でした。又、型染めの体験では、用意したハンカチは瞬間に綺麗な作品に仕上がりました。地場産業の匠の技と伝統文化の魅力を、余す事なく地域の皆様に伝えられた事と思います。



▲作品は力作ぞろい



▲吉住区長からも質問が…

みどり・環境部会

部長 森山 崇

今年もみどり・環境部会では3階の小集会室を会場にして、「緑のカーテン」と「地域ねこ問題」のパネル展示、ゴーヤジュースの試飲に加え、新しい試みとして、朝顔などの花の折り紙を来場者に折ってもらうイベントを行いました。この折り紙や写真パネルには、下落合地域交流館の方に協力していただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。会場には大きな緑のパネルに可愛い折り紙の花が咲き、鉢植えのホトトギスの花、唐辛子の果実が色を添えていました。今年もゴーヤジュースは大好評で、昨年よりも増やした材料がほとんどなくなるほどでした。「地域ねこ問題」では地道な努力によって野良猫が減りつつある資料などが展示され、皆さん興味深く見入っていました。



▲うん！ゴーヤジュースおいし〜い



▲カンタンですから折ってみませんか

広報部会

部長 小野 幾代

広報部会は、昨年同様3階会議室にパネルを展示し、その下のテーブルに広報誌「みどりの風」18号、19号、20号を配布用として置き、4階ホールでは毎年好評の群馬県沼田市の朝採れ野菜の販売をいたしました。沼田市役所経済部観光交流課の方々の指導で間伐材によるマイ箸作りを行いました。来年の大河ドラマ「真田の里上州沼田」と書かれたのぼりが目立つ中、絶え間なく子どもから大人までが並んで箸作りをしていました。

そして、今年初めて子どもたちにも楽しんでもらいたいとあそびコーナーを設けました。「輪投げ」と「ストラックアウト」で、どちらも簡単に見えましたが、なかなかのくせもの!! 4階会場内にはプレイヤーたちの悲鳴や歓声がたえず上がっていました。また、スタンプラリー抽選所にはフェスタ実行委員が考え選んだ景品を横目にガラポン（抽選器）を回す人の姿が印象的でした。



▲“出来た” 私のお箸



▲ぜったい全部入れるぞ



第6期 地区協委員募集!

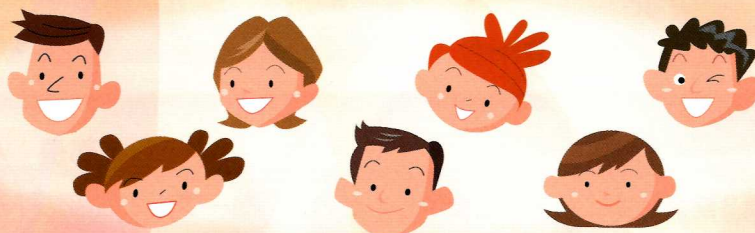


落合第一地区協議会とは、私たちの住むこの落合地区を「ともにつくるみどり豊かで安心なまち」をスローガンに、新宿区役所・落合第一特別出張所とともに、地域における様々な課題を解決するために、取り組んでいる団体です。

より住みやすいまちづくりのために、落合第一特別出張所管内に1年以上お住まいの方・お勤めの方・学生の方で18歳以上の方一緒に活動してみませんか?

平成28年2月より募集する予定です。詳しくは各町会の掲示板等をご覧ください。

たくさんの方のご応募をお待ちしております。



編集後記

「かんじんなことは、目に見えないんだよ」

(サン・テグジュペリ作 星の王子さま より)

昨今、マンションの杭工事データ偽装が問題になっているが、人の目が届かないところだけに住民の不安が募っている。縁の下の力持ちが力を発揮できなければ、その上にいる人(物)も崩壊する。まだ桜の季節ではないが、人々は花の美しさや散りぎわの見事さに心を奪われるが、その地下で根は木を支え水分や栄養を枝や花に送っている。園芸家でもない限り、どれだけの人がそのことを考えているだろうか。根元での宴会は慎みたいものである。桜はやはり離れたところから眺めるのが一番良い。

作家で僧侶の瀬戸内寂聴さんが10月の青空説法で次のようなことを語った。

「本当は目に見えないものが大切。神や仏、ご先祖様は目には見えない。もっと見えないのは人の心。しかし、生きていく上で一番大切。目に見えないものによって生かされていると考えて」と説いた。

目に見えないもの、それは偉大でもあり恐怖でもある。

T.U.